

# 令和5年度横浜市高等学校奨学生募集要項

横浜市教育委員会

1 応募資格 次の(1)から(4)の全てを満たす方が申請できます。応募資格を満たさない方は選考されません。

(1) 保護者が横浜市内在住の方

- ・令和5年4月30日以前から申請書類の提出期限の時点も継続して市内在住であること

(2) 高等学校に在学し、品行方正な方

- ・「高等学校」は特別支援学校の高等部、中等教育学校の後期課程を含みます。高等専門学校、専修学校、各種学校、別科、専攻科等を含みません。
- ・高等学校の市内・市外、国公立・私立は問いません。

(3) 学業成績が前年度1年間の全履修教科・科目の評定平均値において5段階評価で

3.50以上の方。(小数点以下第3位を四捨五入)

- ・学業成績が3.50未満の方は採用されません。
- ・新1年生の場合は、中学校第3学年末の全履修教科の成績  
※高等学校受検時の成績ではなく、学年末に出された成績です。  
※中学校には、特別支援学校の中学部、中等教育学校の前期課程、義務教育学校の後期課程を含みます。

※3.495・・・以上=3.50 ○

※3.494・・・以下=3.49 ×

(4) 経済的理由により高等学校の修学が困難な方

- ・目安：4人家族の場合で世帯収入が約500万円程度の方
- ・上記の金額を超えた世帯収入がある方も採用になる場合があります。

高等学校等就学支援金や神奈川県高校生等奨学給付金と併給できます。

他の奨学金等との併給も可能です。併給を受けようとする他の制度が併給可能であるかを確認してください。

2 支給額 (返還不要)

月額 5,000円 (年額 60,000円)

3 新規採用人数

約900人程度 (継続採用者と合わせて計2,000人を採用予定)

4 選考方法

申請多数の場合は、応募資格を満たす方の中で生計状況の厳しい方から採用します。生計状況が同程度の場合は学業成績が上位の方から採用します。

5 申請方法

在学する高等学校を通して申請していただきます。

申請書類一式 (本資料中面2、3ページ参照) を在学する高等学校へ提出してください。

令和4年度以前に本奨学生として採用されている方は、原則として正規の修業年限まで支給されるため、改めて申請する必要はありません (4ページ「継続採用について」参照)。

6 申請書類の提出期限

在学する高等学校の指定する期間内に、学校に提出してください。

なお、高等学校から横浜市教育委員会への提出期限は令和5年6月16日 (金) 必着です。

7 問合せ先 受付時間 8:45~17:15 (土曜日・日曜日・祝日を除く)

〒231-0005 横浜市中区本町6丁目50番地の10  
横浜市教育委員会事務局学校支援・地域連携課 (高等学校奨学金担当)  
電話 045(671)3474 FAX 045(681)1414



※本募集要項・申請書類様式は横浜市ホームページからダウンロードして使用できます。

横浜市トップ>暮らし・総合>子育て・教育>学校・教育>各種手続き・相談>横浜市高等学校奨学生募集

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/kosodate-kyoiku/kyoiku/soudan/syogakukin.html>

上記QRコードからもホームページを見ることができます。

## 8 申請書類

- (1) 奨学生願書<様式①> (本人・保護者等が記入 記入例 (別紙1-①) 参照)
- (2) 推薦調書 <様式②> (高等学校が記入 申請者は白紙の様式を学校へ渡してください)
- (3) 生計を同じくする家族の収入等の状況がわかる書類 ※1 (別紙1-②参照)
- (4) 障害者手帳等 (紙またはカード) のコピー ※2 (該当者のみ)

※1 (3) 「生計を同じくする家族の収入等の状況がわかる書類」について  
以下のア～ウのうち、該当するものを提出してください。

ア 生活保護世帯	生活保護受給証明書 (コピー可)
イ① 申請する生徒が 児童養護施設に入所	施設長による入所証明書 (原本)
イ② 申請する生徒が 里親の元で生活	児童相談所が発行する委託措置証明書 (コピー可) 申請をお考えの方は、事前に横浜市教育委員会へ御相談ください。
ウ 上記ア・イのいずれ れにも該当しない世帯	A <u>令和5年度</u> 市民税・県民税 特別徴収税額通知書 (コピー可) B <u>令和5年度</u> 市民税・県民税 税額決定・納税通知書 (3枚全ての面・コピー可) C <u>令和5年度</u> 市民税・県民税 課税 (非課税) 証明書 (原本) 生計を同じくする家族のうち、応募時点で18歳以上であり、学生でない方について、A～Cのいずれかの書類を全員分提出してください。 扶養に入っている方や収入のない方も提出が必要です。 *ただし、 ・令和4年度まで学生だった方は不要 (奨学生願書に☑欄あり) ・主たる生計者又は保護者の方が学生の場合は必要 ・生徒本人のみの世帯の場合は本人の書類が必要 *Cの取得については別紙3のとおりに申請してください。
令和4年度の通知書・ 証明書は無効です。 <u>必ず令和5年度の通知 書・証明書を提出して ください。</u>	

※2 (4) 「障害者手帳等のコピー」について

- ・全ての面をコピーしたものを提出してください。
- ・奨学生願書の「障害者手帳を添付される方」欄に○を記入してください。
- ・この書類を提出する家族の方が、18歳以上で学生でない場合は(3)の収入等の状況がわかる書類の提出も必要です。

※(3)及び(4)を厳封して提出する場合は、封筒に学校名・氏名・何の書類かを明記して、開封しない旨を高等学校へ伝えた上で提出してください。

## 9 申請手続きから奨学生の決定・支給までの流れ (予定)

6月16日 (金)まで	在学する高等学校から横浜市教育委員会への提出期限 ・申請者は、 <u>在学する高等学校の指定する期間内</u> に申請書類を学校に提出してください。
10月ごろ	選考結果の通知 ・採用・不採用に関わらず、在学する高等学校を通して申請者全員へ通知します。 ・採用された方には、支給に必要な書類を提出していただきます。詳細は学校を通じて連絡します。
12月ごろ	学校への入金 (年1回) ・奨学金支給に必要な書類を提出していただき、その書類を横浜市で確認した後に各高等学校へ入金します。その後、各高等学校から奨学生へ支給されます。 ・学校から奨学生への支給にあたり、原則、振込手数料が発生します。 ・入金時期は、不備のない書類を横浜市で確認できた時期により前後します。

1 奨学生願書<様式①>作成上の注意 **別紙1-①「奨学生願書記入例」も必ず参照してください。**

記入にあたり鉛筆や消せるボールペン、修正テープ、修正液は使用しないでください。  
誤りを修正する場合は、二重線を引いて近くに書き直してください。訂正印は不要です。

(1) 生計を同じくする家族について

「生計を同じくする家族」とは、生活の資を共にする全ての方になります。本人を含め家族全員分について漏れがないように記入してください。

**同一生計とする場合**

・同居している方：

年金収入等がある祖父母や給与所得等があるきょうだいについても、同居していれば「生計を同じくする家族」に含む

・進学や単身赴任等により別居しているが、送金等により生活の資を共にしている方：  
自宅外通学の学生等、主たる生計維持者の送金が生活費の大部分を占めている場合

**同一生計としない場合**

・二世帯住宅等で食費・水道光熱費・住居費等を含め、生活の資が分かれている方

・別居していて、生活の資を共にしていない方：

離婚・別居している者からの送金があるが、それが生活費の大部分を占めない場合も含む

(2) 生計を同じくする家族の収入の状況について

・収入等の書類を提出する方（18歳以上で学生でない方）は、A「収入等の書類を提出」欄にチェックマーク（☑）を記入してください。

・今年度は学生でないが令和4年度まで学生だった方は、B(1)「昨年度まで学生」欄にチェックマーク（☑）を記入してください。B(2)欄の学校名等は記入しないでください。

(3) 生計を同じくする家族の就学の状況について

・今年度学生の方は、B(2)欄の「学校設置者」「学校名」「校種」「自宅外通学」欄にそれぞれチェックマーク（☑）と必要事項を記入してください。

・インターナショナルスクールやフリースクール等にお通いの方で、在籍する小学校・中学校・高等学校等がある場合は、B(2)欄はその在籍学校を記入してください。インターナショナルスクールやフリースクール等のみにお通いの場合は、そのスクール名を記入し、校種欄は空欄にしてください。

(4) 障害者手帳等のコピーを提出する場合

「障害者手帳を添付される方」欄に○を記入してください。

2 収入等の状況がわかる書類等についてのお願い

- ・添付書類は家族のうち誰に関するものか分かるよう、氏名や発行年月日等の情報が読み取れる状態で提出してください。コピーを提出する場合は文字が切れずに印刷されているか御確認ください。
- ・提出書類は原則A4サイズで提出してください。添付書類がA4サイズより小さい場合はA4サイズの白紙に糊付けしていただき、大きい場合は開くことができる形でA4サイズに折りたたんで御提出ください。

3 資格喪失について

申請（選考）中や採用後に、保護者が横浜市外に転居した場合や本人が学校を退学した場合などは、本市奨学生の資格を失い、その日の属する月の翌月分から支給停止となります。資格喪失に該当するときは、直ちに在籍する高等学校を通して横浜市に御連絡ください。

## 継続採用について

本奨学金は、原則として正規の修業年限（入学してから本来卒業する年度）まで支給されます。年度末に高等学校より提出いただく報告書を横浜市が確認し、特に修業状況に課題が見られない場合は、継続して採用されます。

学校を通じて個別に連絡がない方は、基本的に継続採用予定となります。継続採用予定の方には令和5年6月頃に在学する高等学校を通じて、採用予定であることを通知します。継続採用予定の方は、新規応募時に提出した願書等の書類を再提出する必要はありません。

なお、採用後に保護者の横浜市外への転居などの理由で奨学生を辞退した方が、再度奨学金の支給を希望するときは、本要項1ページの応募資格を満たすことを確認の上、改めて応募してください。

## その他

- ◎ 提出された書類は、原則として返還しません。奨学生採用決定事務のみに使用します。
- ◎ 提出された書類に不備・不足がある場合は、横浜市または高等学校から状況を確認したり書類の再提出を求めたりすることがあります。選考に必要な不備のない書類が提出されない場合は選考対象外となり不採用となります。
- ◎ 偽り等不正な手段で横浜市高等学校奨学生の決定を受けたことが判明した場合は、その決定を取り消すことがあります。

## 一般財団法人 岩崎与四郎育英会奨学生についての御案内

横浜市高等学校奨学生に不採用となった方の中から、選考順に「一般財団法人 岩崎与四郎育英会（以下、同法人という）」の奨学生へ推薦をします。

- ・ 応募資格・支給内容は横浜市高等学校奨学生と同じであり、原則として正規修業年限の間は継続して支給されます。
- ・ 推薦候補者となった方については、横浜市教育委員会より在学する高等学校を通して、横浜市高等学校奨学生の不採用通知と併せて連絡します。なお、推薦人数は10名程度を予定しています。
- ・ 推薦及び推薦に必要な個人情報の提供に同意される場合は、同封する「奨学生推薦同意書」を提出してください。
- ・ 推薦候補者の個人情報は、推薦に必要な項目（氏名、住所、学校名、課程、学年）のみ同法人へ提供します。横浜市が確認した申請書類は提供しません。
- ・ 採用が決定した場合は同法人より高等学校へ通知し、高等学校を通して奨学金が支給されます。

※一般財団法人 岩崎与四郎育英会奨学生は、横浜市高等学校奨学生の申請及び併給はできません。

〈様式①〉

第1号様式（第2条第1項）

※担当記入欄

奨 学 生 願 書												
本人	フリガナ					生年月日 (年齢)	年 月 日					
	氏 名						歳					
	現住所	〒 - - - - -										
	在 学 学校名等 (いずれかに☑→)	( )立	高等学校			(転)入学	年 月					
	<input type="checkbox"/> 全日制	<input type="checkbox"/> 定時制	<input type="checkbox"/> 通信制	( )年	卒業予定	年 月						
保護者	氏 名					本人との 続柄(間柄)						
	現住所	〒 横浜市 区				(連絡先TEL - - - - -)		申請する年の 4月30日時点で 保護者が横浜市 内に居住してい ること				
生 計 を 同 じ く す る 家 族	本人 との 続 柄	氏 名	年 齢	未就学児を除く全ての方について、 A と B のいずれかに記入が必要です。					障 害 者 手 帳 を 添 付 さ れ る 方	本 欄 に は 何 も 記 入 し な い で く だ さ い 。		
				A	B (1)・(2)のいずれかに記入							
	収入等の 書類を 提出 ↓☑	(1) 昨年度 まで学生 ↓☑	(2)本年度に学生 ↓☑及び記入	校種 下記 1~9	自宅外 通学 ↓○							
		学校設置者	学校名 (正式名称)									
	本人		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 国公立 <input type="checkbox"/> 私 立							総
			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 国公立 <input type="checkbox"/> 私 立							ひ
			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 国公立 <input type="checkbox"/> 私 立							生
			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 国公立 <input type="checkbox"/> 私 立							施
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 国公立 <input type="checkbox"/> 私 立					障			
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 国公立 <input type="checkbox"/> 私 立					成			
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 国公立 <input type="checkbox"/> 私 立								
奨学金を 必要とする理由 (記入必須)		----- ----- ----- -----										
横浜市教育委員会教育長 横浜市奨学生として奨学金の支給を受けたいので願います。 年 月 日 本人(自署) 保護者(自署)												

校種 1:小学校 2:中学校 3:高等学校 4:高等専門学校 5:専修学校(高等課程) 6:専修学校(専門課程)  
7:短期大学 8:大学 9:大学院

◎科目履修生・聴講生・研究生、専修学校(一般課程)、各種学校(予備校・職業訓練校・農業大学校等)は除きます









〈様式①〉

第1号様式（第2条第1項）

《奨学生願書記入例》

※担当記 別紙1-①

本人・保護者が記入

修正テープや修正液は使用しないでください。修正する場合は、二重線を引いて近くに書き直してください（訂正印不要）。

本人	フリガナ	ヨコハマ イチロウ	生年月日 (年齢)	平成18年〇月△日 17歳
	氏名	横浜 一郎	現住所	〒231-0005 横浜市中区本町6丁目50-10 教育第一ハイツ202
	現住所	〒231-0005 横浜市中区本町6丁目50-10 教育第一ハイツ202	和暦・西暦どちらでも可	
本人	学校名等 (いづれかに☑→)	<input checked="" type="checkbox"/> 全日制 <input type="checkbox"/> 定時制 <input type="checkbox"/> 通信制	( 2 ) 年	卒業予定 〇〇年〇月
	氏名	横浜 奈美	本人との続柄(間柄)	母
保護者	現住所	〒231-0005 横浜市中区本町6丁目50-10 教育第一ハイツ202	児童養護施設入所者は、施設長を記入してください。	申請する年の4月30日時点で保護者が横浜市内に居住していること

・「同上」「本人と同じ」等で省略せずに記載してください。  
 ・保護者が市内在住でない方は、選考ができず不採用となります。

未就学児を除く全ての方について、  
 AとBのいずれかに記入が必要です。

色付きの箇所は担当記入欄です。  
 申請者の方は記入しないでください。

生計を同じくする家族	続柄	氏名	年齢	収入等の書類を提出 ↓☑	A B (1)・(2)のいずれかに記入		学校名(正式名称)	校種 下記 1~9	自宅外 通学 ↓○	障害者 手帳を 添付さ れる方	本欄には何も 記入しないで ください。	
					(1) 昨年度 まで学生 ↓☑	(2) 本年度に学生 ↓☑及び記入					総	ひ
本人	横浜 一郎	17	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/> 国公立 <input type="checkbox"/> 私立	<input type="checkbox"/>	〇〇〇立 〇〇高等学校	3				
母	横浜 奈美	49	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 国公立 <input type="checkbox"/> 私立	<input type="checkbox"/>	18歳以上であり学生でない方は、収入等の書類を提出する必要があります。詳細は募集要項2ページを御確認ください。					
父	横浜 秀一	50	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 国公立 <input type="checkbox"/> 私立	<input type="checkbox"/>						
祖母	横浜 はな	73	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 国公立 <input type="checkbox"/> 私	<input type="checkbox"/>	令和4年度まで学生だった方は☑ ・(2)学校名等は記入しないでください。 ・本年度も学生の方は☑せず、(2)の枠内のみ記入してください。					
兄	横浜 浩二	23	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 国公立 <input type="checkbox"/> 私	<input type="checkbox"/>						
姉	横浜 聡子	19	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 国公立 <input checked="" type="checkbox"/> 私立	<input type="checkbox"/>	〇〇大学	8	<input type="checkbox"/>			
弟	横浜 翔	14	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/> 国公立 <input type="checkbox"/> 私立	<input type="checkbox"/>	横浜市立 △中学校	2		<input type="checkbox"/>		
					<input type="checkbox"/> 国公立 <input type="checkbox"/> 私立							

障害者手帳等のコピーを提出する場合は、その方の欄に○を付ける

令和4年度まで学生だった方は☑  
 ・(2)学校名等は記入しないでください。  
 ・本年度も学生の方は☑せず、(2)の枠内のみ記入してください。

願書下部の校種を数字で記入

高校生以上の(2)本年度に学生の方で、一人暮らしや寮など自宅外から通学している場合は、○を付ける

本人と保護者のそれぞれが自署してください。  
 応募時点で成年年齢に達している場合であっても、高校在学中に成人となり、以前の保護者等が生計を維持する状況に変更がない場合は、保護者等の署名を必要とします。高校入学時点ですでに成人の場合は、本人のみの署名で構いません。

・記入がない場合、選考することができません。  
 ・本人・保護者のどちらが記入しても構いません。

日付は必ず記入してください。作成日・学校への提出日  
 どちらでも可 ※ 提出締切日以前の日付であること

奨学金を必要とする理由  
 (記入必須)

横浜市教育委員会教育課  
 横浜市奨学生として奨学金の支給を受けたいので願ひ出ます。

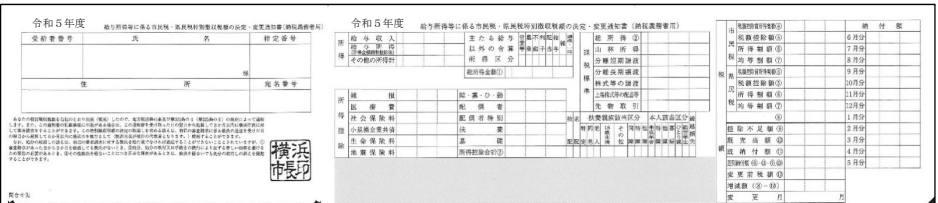
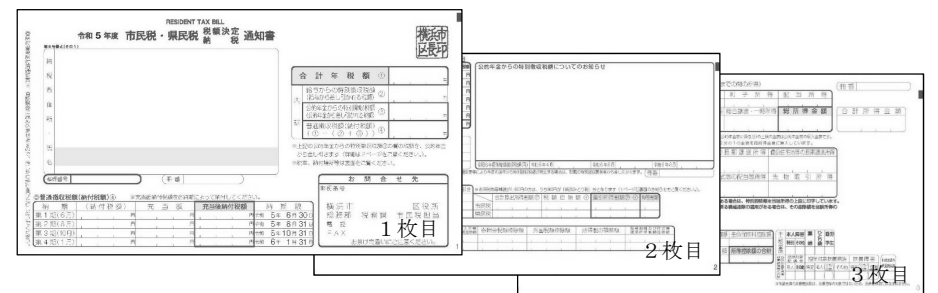
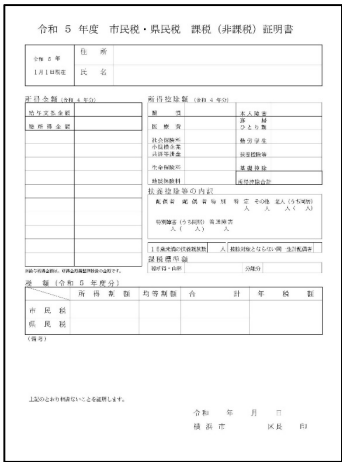
令和5年 6月 1日 本人(自署) 横浜 一郎  
 保護者(自署) 横浜 奈美

校種 1:小学校 2:中学校 3:高等学校 4:高等専門学校 5:専修学校(高等課程) 6:専修学校(専門課程)  
 7:短期大学 8:大学 9:大学院

◎科目履修生・聴講生・研究生、専修学校(一般課程)、各種学校(予備校・職業訓練校・農業大学校等)は除きます

「収入等の状況がわかる書類」についての注意事項

募集要項2ページ「8 申請書類【生計を同じくする家族の収入等の状況がわかる書類】」について、以下の点に注意して提出してください。

<p>ア 生活保護世帯</p>	<p><b>生活保護受給証明書</b>（コピー可）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・居住区の福祉保健センター長発行</li> <li>・申請日から直近3か月以内の日付のもの</li> <li>・生計を同じくする家族全員※の名前が記載されているもの</li> <li>※全員が奨学生願書&lt;様式①&gt;に記載している家族と同じであること</li> </ul>
<p>イ① 申請する生徒が児童養護施設に入所</p>	<p><b>施設長による入所証明書</b>（<u>原本</u>）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・申請日から直近3か月以内の日付のもの</li> </ul>
<p>イ② 申請する生徒が里親の元で生活</p>	<p><b>児童相談所が発行する委託措置証明書</b>（コピー可）</p> <p>申請をお考えの方は、事前に横浜市教育委員会へ御相談ください。</p>
<p>ウ 上記ア・イのいずれにも該当しない世帯</p> <p><b>令和4年度の通知書・証明書は無効です。必ず令和5年度の通知書・証明書を提出してください。</b></p> <p>※生計を同じくする家族のうち、応募時点で18歳以上であり、学生でない方について、A～Cのいずれかを全員分提出してください。</p>	<p><b>A 令和5年度 市民税・県民税 特別徴収税額通知書</b>（コピー可）</p> <p>会社勤務の方等が勤務先の会社等から配付されるもの</p>  <p>※（納税義務者用）と記載されているものを提出してください（「特別徴収義務者用」では選考できません）。</p> <p><b>B 令和5年度 市民税・県民税 税額決定・納税通知書</b>（コピー可）</p> <p>自営業の方等が区役所より送付されるもの</p>  <p>※3枚ともコピーして提出してください。 ※変更通知書のみでは選考できません。その場合はCを提出してください。</p> <p><b>C 令和5年度 市民税・県民税 課税（非課税）証明書</b>（<u>原本</u>）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各区役所税務課・行政サービスコーナーで取得できるもの。実際はA4サイズ。</li> <li>・記載内容が「*****」という表記になっていても、そのまま提出してください。</li> <li>・取得方法については別紙3を御確認ください。</li> <li>・他の用途で既に取得している場合は、コピーを提出することも可能です。</li> </ul> <p>※AまたはBに該当しない方、及び会社勤務や自営業の方でA・B以外にも収入がある方は、Cを提出してください。 ※A及びBはCでも代用できます。</p> 

〈様式②〉

《推薦調書記入例》

在学する高等学校が作成

第2号様式（第2条第1項）※全ての申請者について作成をお願いします。

<b>推 薦 書</b>		新1年生については、「中3(年)」と記入し、中学校第3学年末の成績を記入してください。	
氏名	横浜 一郎		新2年生以上については、前年度1年間(学年末)の成績を記入してください。
在学 学校名	〇〇〇立 〇〇 高等学校	教科・科目	1年
課程・学年	全日 制 2年	国語総合	4
		現代社会	4
推 薦 所 見 (学業・人物・経済状況等)		数学 I	5
		数学 A	3
		化学基礎	4
学業(努力して取り組んでいた教科・科目、学習態度など)、人物(生活態度、性格、学校生活で担っている役割など)、経済状況等について、 <u>奨学生としてふさわしい旨</u> を記載してください。 経済状況については、把握されている範囲で結構です。 ※新1年生につきましても、出身中学校からの引継ぎ資料や6月までの学習・生活態度等を基に記入をお願いします。		体育	5
		保健	5
		美術 I	5
		コミュニケーション	4
		英語 I	4
		家庭総合	4
		総合情報	5
		評定平均	4.36
上記の		ものと認め、推薦します。	
令和5年6月1日		「 <u>学校長印</u> 」を押印してください。 ※学校印・証明印など他の印を押印しないでください。	
(あて先) 横浜市教育委員会教育長			
学校名 〇〇高等学校		★★市立△△高等学校長印	
学校長名 △△ △△			
連絡先	〒番号:	・内容の確認のため御連絡させていただくことがありますので、電話番号と御担当者名を記入してください。 ・記入者と、奨学金事務御担当者が異なる場合は、それぞれの御名前を記入してください。	
	住所:		
	電話番号:		
	担当者: (記入者名)		
		(奨学金担当者名)	

この書類は、高等学校で作成してください。

修正テープや修正液は使用しないでください。修正する場合は、二重線を引いて近く書き直してください(訂正印不要)。

<b>高等学校の方へ 申請手続きに関する依頼事項・注意事項</b>
-----------------------------------

## 1 申請書類の提出について

提出書類	<p>(1) 奨学生願書&lt;様式①&gt; 別紙 1-①「奨学生願書記入例」を参照し、記入漏れがないか御確認ください。</p> <p>(2) 推薦調書&lt;様式②&gt; 次項 2「作成上の注意」及び別紙 2-①「推薦調書記入例」を御確認いただき、<u>申請する全ての生徒について作成してください。</u></p> <p>(3) 生計を同じくする家族の収入状況を示す全ての書類 募集要項 2 ページ及び別紙 1-②を参照し、書類の不備・不足がないか御確認ください。市民税・県民税に関する書類は、表題に「令和 5 年度」の記載があるものがが必要です。また、課税（非課税）証明書は、他の用途で既に取得している場合は、コピーで提出することも可能です。 なお、課税証明書類は通常 5 月下旬から 6 月に発行されますが、発行が遅れる場合があります。提出期限に間に合わない場合は担当まで御一報ください。</p> <p>(4) 障害者手帳等のコピー（該当者のみ）</p>
提出方法	申請者一人ずつ、上記(1)～(4)の順に重ね、左端上部 1 か所をホチキス留めしてください。
提出期限	<b>令和 5 年 6 月 16 日（金）【必着】</b>
提出先	<p>横浜市教育委員会事務局学校支援・地域連携課 高校奨学金担当 (住所 〒231-0005 横浜市中区本町 6 丁目 50 番地の 10)</p> <p>※来庁の場合、市庁舎 3 階の受付で入館証をお借りいただき 14 階へお越しください。 ※郵送の場合は、封筒表面に「奨学金申請書類在中」と記載してください。特定記録郵便・簡易書留郵便・レターパック等配達記録が残る形での郵送をお願いします。</p>
その他 依頼事項 等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・申請者が募集要項 1 ページの応募資格を満たしているか御確認をお願いします。<u>保護者の市内在住及び成績要件を満たさない方は、選考ができず不採用となります。</u></li> <li>※募集要項 1 ページに記載する世帯収入はあくまで目安のため、申請者が希望されている場合は受付をお願いします。</li> <li>・申請者が直接提出せず、必ず高等学校で取りまとめいただき提出をお願いします。</li> <li>・提出された書類に不備・不足がある場合は、高等学校を通して状況を確認したり書類の再提出を求めたりすることがあります。</li> <li>・令和 4 年度以前に本奨学生として採用されている継続採用予定者については、改めて申請書類を提出していただく必要はありません。</li> </ul>

## 2 「推薦調書&lt;様式②&gt;」作成上の注意

別紙 2-①「推薦調書記入例」も御確認をお願いいたします。

学業成績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前年度 1 年間の全履修教科・科目について、指導要録に基づき教科・科目の名称及び 5 段階評価の評定を記入してください。</li> <li>※新 1 年生の場合は、中学校第 3 学年末の全履修教科の成績が対象です。 高等学校受検時の成績ではなく学年末時点の成績を確認してください。</li> <li>※教科・科目数が多く書ききれない等の場合は、別紙 2-①「推薦調書記入例」に記載の方法で御対応ください。</li> <li>・「<u>評定平均</u>」は小数点以下第 3 位を四捨五入し、小数点以下第 2 位まで記入してください。</li> <li>※「<u>評定平均値が 3.50 以上である</u>」という応募資格を満たさない方は、選考ができず不採用となります。</li> </ul>
推薦所見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・申請者の学業・人物・経済状況について記入してください。</li> </ul>

※推薦調書は、Word 形式で作成し、印刷したものを提出することも可能です。Word 書式は横浜市教育委員会ホームページからダウンロードしていただけます（URL は募集要項 1 ページ参照）。

## 3 継続採用者（令和 4 年度以前の奨学生採用者）について

- ・年度末に各高等学校へ依頼した修業状況報告書により奨学生の状況を確認し、継続採用者を決定します。修業状況によっては継続できない場合もありますが、その場合は横浜市から高等学校へ採用者決定の前に個別に御連絡いたします。
- ・継続採用の状況については、6 月頃に該当者のいる高等学校へ通知する予定です。
- ・継続採用者の支給手続き及び入金は、新規採用者と同時に行います。
- ・正規修業年限（本来卒業する年度）を超過した方には支給できません。

## 市民税・県民税 課税（非課税）証明書の取得について

市民税・県民税の課税（非課税）証明書は、以下の方法で取得してください。

### 1 窓口での取得について

本紙（別紙3）を窓口を持参して申請してください。

#### ◎必ず「令和5年度（令和4年中の所得の証明）」を取得してください。

取得時に記入する「市民税・県民税課税（非課税）証明申請書」の「必要なものに○をつけてください」の選択肢で「令和5年度（令和4年中の所得の証明）」を選択して申請し、取得した書類が「令和5年度市民税・県民税課税（非課税）証明書」であるかを確認してください。

#### ◎取得方法

市民税・県民税課税（非課税）証明申請書の「■証明を必要とする理由」欄の「奨学生出願」に○をつけ、カッコ内に「横浜市高等学校奨学金」と記入してください。

#### ◎取得できる時期

令和5年6月1日以降に取得できます。  
 なお、税額を給与から特別徴収されている方あるいは非課税の方は5月下旬から取得できる見込みです。  
 また、税の申告がお済でない場合など、すぐに取得できない場合がありますので、申告の際に窓口で御確認ください。

### 2 スマートフォン・郵送による請求について

お住まいの区役所税務課へ、スマートフォンや郵送により請求することも可能です。  
 請求方法の詳細については、次の横浜市ホームページを御確認ください。

横浜市トップ>暮らし・総合>戸籍・税・保険>税金>市税の証明>

「市民税・県民税課税（非課税）証明書」（財政局主税部税務課のページ）

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/koseki-zei-hoken/zeikin/shizei-shomei/kazei-shomei.html>

### 3 横浜市以外の自治体での取得について

今回Cを取得していただく方で、令和5年1月1日時点で横浜市以外の市区町村に住んでいた方は、その自治体が発行する課税（非課税）証明書が必要です。

取得についてはその自治体の課税証明書類担当部署にお問い合わせください。

